犯罪河岸（1947）

QUAI DES ORFEVRES
JENNY LAMOUR［米］

メディア 映画
ジャンル 犯罪　サスペンス
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 105分
初公開日 1949/07/05
公開情報 ＳＥＦ＝東宝

【解説】

戦後まもない４６年のパリ。音楽出版社を訪れた町の歌手たちは、夫モーリスのピアノ伴奏で唄うジェニーの声量とフィーリングに驚く。彼女はたちまちスターとなり、旧友の写真師ドラは雑誌用のポートレイトを撮る。そこへ、映画会社も持つ財閥総帥ブリニョンが趣味の写真を彼女に撮らせにモデルを連れてやってくる。映画界とのコネができたと喜ぶジェニーに、彼は危険人物だとドラは忠告し、彼の事務所に向かったジェニーをモーリスが奪還しに行く騒ぎ。ところが、また夫のいないスキに、ブリニョンの自宅に出かけるジェニー。住所を書いたメモを見つけ、モーリスが乗り込むとブリニョンは死んでいた。その頃ジェニーはドラに経緯をすべて告白していた。犯されかけ夢中で酒瓶で撲った、と……。それ言わんことかとドラは、証拠隠滅にブリニョン宅を訪れる。そして、モーリスのためにも嘘をつき抜くことをジェニーに誓わせるのだったが、そのため夫が窮地に追い込まれることに……。

以降、“刑事コロンボ”のように現れるＬ・ジューヴェの刑事アントワーヌが、いかに観客に既に分かっている事実を精密に解き明かしていくかが興味の対象になるが、最後にちょっとしたドンデン返しがあって真犯人が明らかになる仕掛けも、複線の張り方が意外で充分に楽しめる。しかし、ミステリーと呼ぶより、ひねりの効いた世話物という感じで、何とも人間的なジューヴェ（植民地で兵隊だったという設定で混血の息子と二人暮らしだ）を始め、モーリスに秘かに恋するドラの女心にも、夫婦の痴話喧嘩の凄まじくも愛らしい感じにも大変魅了される。それにもうクルーゾーの語り口のうまさゆえ、と言う他なく、彼がベネチア映画祭で監督賞を受けたのも頷かされる。原作はＳ・Ａ・ステーマンの『正当防衛』。

【クレジット】

監督	アンリ＝ジョルジュ・クルーゾー	Henri-Georges Clouzot	
製作	ロジェ・ド・ヴェンルー	Roger De Venloo	
	ルイ・ウィフ	Louis Wipf	
原作	Ｓ＝Ａ・ステーマン	S.A. Steeman	
脚本	アンリ＝ジョルジュ・クルーゾー	Henri-Georges Clouzot	
	ジャン・フェリー	Jean Ferry	
撮影	アルマン・ティラール	Armand Thirard	
編集	シャルル・ブレトネイシュ	Charles Bretoneiche	
音楽	フランシス・ロペス	Francis Lopez	
出演	ルイ・ジューヴェ	Louis Jouvet	アントワーヌ警部
	シュジー・ドレール	Suzy Delair	ジェニー・ラムール
	ベルナール・ブリエ	Bernard Blier	モーリス・マルティノー
	シモーヌ・ルナン	Simone Renant	ドラ・モニエール
	シャルル・デュラン	Charles Dullin	ブリニヨン

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

ピエール・ラルケ	Pierre Larquey	エミール・ラフォール
ジャンヌ・フュジエ＝ジール	Jeanne Fusier-Gir	パケレット
ロベール・ダーバン	Robert Dalban	パウロ
クローディヌ・デュビュイ	Claudine Dupuis	マノン

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.